

## ふるさとの歴史をつなぐ

11月29日(火)ふるさとの歴史と文化を学ぶ会(代表:里見哲夫氏)から「私たちのふるさと行政便覧 富岡・甘楽」と題した冊子、150冊を寄贈していただきました。明治初期の群馬県の変遷地図や郡、市町村の変遷などが図や表などで解りやすく書かれています。編集作成には会員みなさまであたり、15頁におよぶものです。貴重な資料として有効活用をさせていただきます。会員のみならず、ありがとうございました。なお、これからを担う子どもたちのため小学校・中学校に配置するほか、多くの方に閲覧いただくため、公民館図書室や公共機関にも配置予定です。



## 包括連携協定を締結しました

平成28年12月12日(月)に、下仁田町では町内に支店がある株式会社群馬銀行、しのめ信用金庫、群馬県信用組合、甘楽富岡農業協同組合の各金融機関と包括連携に関する協定を締結しました。

町と金融機関は、これまでも地域に密着した活動を行ってきましたが、地方創生・人口減少という共通する課題の解決に向け、それぞれが得意分野を活かした事業を共同で行うため協定を締結することといたしました。



## 最優秀賞に神戸土木(株) 第8回施工技術発表会

安全で豊かな郷土の発展に寄与することを目的とした施工技術発表会が11月15日(火)、前橋市の群馬建設会館で開かれました。

当日は県内で行われた土木・建築の事例、計15件の発表が行われ、馬山(鎌田地区)で施工した、町発注工事「道路改良工事(ブロック積土留工)」の発表を行った神戸土木(株)の神戸 真さんが最優秀賞に選ばれました。



▲当日発表を行った神戸土木(株)の神戸 真さん

## 下仁田ねぎ祭りが開催されました

11月20日(日)こんにゃく手作り体験道場前広場&仲町通りを会場に下仁田ねぎ祭り2016が開催されました。当町を代表する下仁田ねぎをメインに農作物の販売やJA甘楽富岡農特連による「しもにた汁」・下仁田葱の会による「ねぎの鉄板焼き」の無料配布が行われ、約1万5千人の方が来場しました。

当日は、全長25メートルの巨大ねぎま作りや、下仁田ねぎを使った下仁田流すき焼きの会食など多岐にわたる内容が行われ会場は賑わっていました。

イベントの開催に先立ち、下仁田ねぎ共進会の審査が行われ、当日表彰式が行われました。受賞者は下記のとおりです。

### 下仁田ねぎ共進会(品評会)

優等賞 田中 芳重 氏  
 一等賞 飯野 幸雄 氏  
 一等賞 堀口 博志 氏



▲左から堀口さん・田中さん・飯野さん

## 少し早い年越しそばに舌鼓

12月7日(水)下仁田町デイサービスセンター(馬山)で通所者の方々に手打ちそばが振る舞われました。この日そばを打っていただいた方は高崎市倉賀野で「そば処うちだ」営んでいる内田良久さんと息子の真作さん。内田さんは下仁田町(川井区)の出身で、お世話になった下仁田町に奉仕したいとの思いに至り、今年で6年目となります。

通所者の皆さんは、目の前で打たれたそばを、大変おいしくいただいております。



▲そばをご馳走になる通所者の皆さん



▲そばを打っていただいた内田さん一家

## 小学生ねぎ掘り体験

12月6日(火)、小金澤将民さん(馬山)の指導の下、地域おこし協力隊が主となり育てている畑で、下仁田小学校4年生がねぎ掘り体験を行いました。

5月にねぎ植え体験を行った時より、何倍にも大きく育ったねぎを見て大変喜んでいました。



## 交流授業を開催しました!

下仁田小学校4年生と天空の城の竹田城で有名な兵庫県朝来市の梁瀬小学校6年生との間で、12月6日の5時間目と6時間目にスカイプを使った交流授業を行いました。

それぞれの町と市を紹介したり、「下仁田ねぎ」と「岩津ねぎ」について紹介しあったりと、遠く離れた児童が距離を関係なくわきあいあいと画面を通して交流を持ちました。

最初は緊張しているようでしたが、お互いの「ねぎ」を、画面を通して比べるなどしているうちに緊張もほぐれ、終始和やかな雰囲気。梁瀬小学校と400km以上離れていますが、そのような距離も感じず、とても良い雰囲気でした。



## 「冬の県民交通安全運動」を実施しました

冬の県民交通安全運動の一環として、12月1日(木)に道の駅しもにた前の国道254号線で街頭指導を行い、靴用反射材などの啓発品を配布し、事故防止を呼びかけました。7日(水)には町内の飲食店を回り、飲酒運転撲滅活動を行ない、8日(木)には下仁田厚生病院で反射材啓発グッズを配布し高齢者事故防止啓発を行いました。

各交通関係団体のご協力により啓発活動を行うことができました。

ありがとうございました。

